

今日の日本 明日の世界

Vol.88
公助と共助、
社会保障負担の
見直しが必要



1. 減税で浮き彫りになった社会保障負担の重さ

防衛費の増額などを巡って増税メ
ガネと揶揄された岸田総理が、成長
の成果である税収増を国民に還元す
べきだと昨秋に打ち出した、高額所
得者を除いた国民一律4万円の定額
減税政策によって、税以外の負担に
対する国民の思いが顕わになりました。
税以外の負担とは、年金や医療・
介護給付・失業給付・児童手当を担

保するために国民に課されたいわゆる
社会保障負担です。これらは主に
社会保険で財源が賄われていますが、
この負担額が年々重く感じられるよ
うになり、減税より社会保障負担の
減額を求める声が現役世代から多く
出されたのです。

税の負担と社会保障の負担とを併
せたものが、国民全体の所得に占め
る割合を国民負担率と呼びます。こ
の国民負担率の推移をみてみると、
失われた30年前のバブル崩壊時の
1992年度は、税負担が25・1%、
社会保障負担が11・2%で計36・3%。
それが2022年度は税負担が27・
8%、社会保障負担が18・7%で計
46・5%に上昇しています。比較す
る年度の取り方によって差は出ます
が、社会保障負担が国民に重くのし
かかってきている実情が見えてきま
す。

日本と同じように高齢化が進んだ
欧州各国も、程度の差こそあれ状況
は同じです。制度的にも税の負担と、
保険での負担との併用となっています。
世界的に見て国民負担率の高い
国は欧州に集中しています。日本は
そうした欧州主要国の国民負担率に
近付きつつあります。先進主要国で
国民負担率の一番高いフランスでは、
年金の支給条件の低下に反対を表明

して大規模なデモが続いたことが大
きく報道されていました。フランス
大統領は苦しい決断をしたことにな
りますが、この状態に日本も着実に
近付いていると言え、言葉を替えれ
ば早い段階での制度改革を考える必
要があるとも言えます。

2. 原点に立ち返った時、合意は取 れているのか

さまざまな社会保障施策を、生活
保護や児童手当のように税で賄うか、
年金や医療のように社会保険で賄う
かですが、税の場合は国や自治体が
公的責任で困った人々を救済する「公
助」の考え方で行われます。社会保
険方式は年金・医療・介護などにか
かる費用のうち自助努力では賄いき
れないものを、社会全員の負担を集
めて共同で困った時に備える「共
助」の考え方で行われます。社会保
障政策の実行を、公助で行うか共助
で行うかを決めるのは国会での法律
制定です。国民皆保険のスタートは
1961年です。厚生年金保険法の
全面改正で老齢給付が始まったの
が1954年。2000年と最近創
設された介護保険制度を除けば、現
在の現役世代から信任を得ているか
となると、現役世代はノーと答える
でしょう。前回の大阪万博が開かれ

高齢化の急速な進展も重要な問題です
が、この国の将来を担う人材が先細
るといことは、共助で多くの福祉
施策が構成されている日本社会の持
続性を担保する観点からもより重要
な問題と言えます。少子化の根本の
原因は結婚しない・できない若者の
増加です。なぜ結婚しないかといえ
ば、結婚をした後の将来の生活設計
に不安があるからです。結婚して子
供を産んで育てるだけの収入確保の
将来構想が描きにくくなっているの
です。こうした事態が生じた原因は
数々あるでしょうが、賃金の横這い
と並んで国民負担率の上昇も、実質
的な可処分所得が伸びない状態を作
り出すことになるわけで、未婚化・
晩婚化の加速に大きく寄与していま
す。

この問題の解決には、社会保障の
給付の水準か、負担の分担構成を現
状から変更することを考える必要が
あります。現在の社会保障給付は8
割が年金と医療で占められています。
年金は高齢者に給付されるものです
し、医療費も65歳以上への支出が半
分以上を占めている現状を踏まえれ
ば、給付は高齢者に傾斜していると
言えます。その給付水準を下げるか、
共助でなく他の政府支出を削減して

3. 負担が支出かのどちらかを見直 すべき

今日日本が抱えている社会問題で一
番の悩みは少子化です。もちろん高

濱田 敏彰

Toshiaki Hamada

1955年大阪市福島生まれの東京日本橋育ち。
東京大学法学部を卒業し、大蔵省(現財務省)に入省。
政府経済見通しの作成に始まり、銀行検査官、税務署長、
大阪税関長、大臣官房審議官、他省への出向ではジェ
トロコベンハーゲン事務所長、地方分権推進委員会事務
局参事官、東日本大震災の際には消防庁審議官を経験。
2015年税務大学校長を務めに退官し、現在は経済評論
家、関西大学客員教授。



新著
『今日の日本
明日の世界』
(美楽界)



amazon
にて発売中

